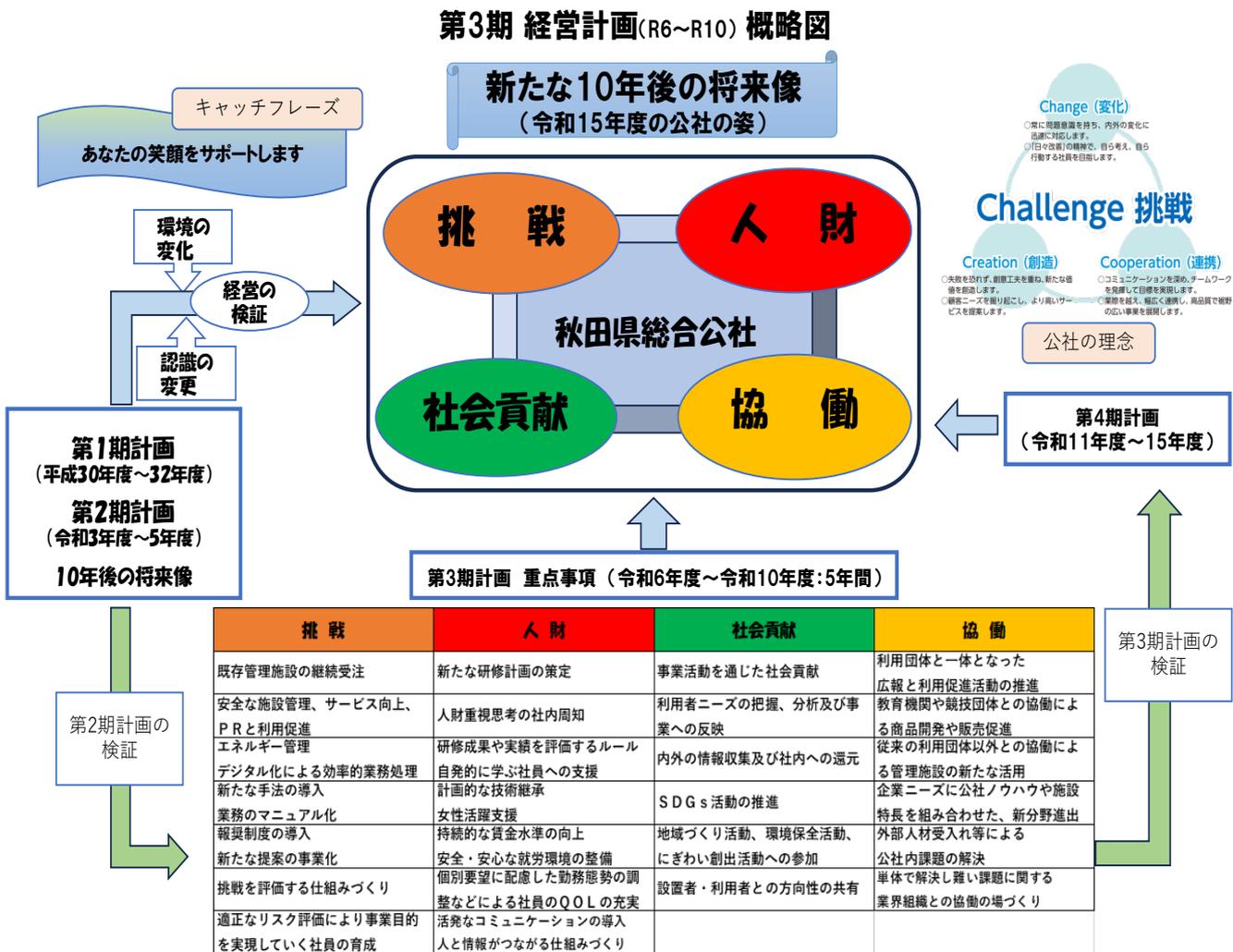


I 経営概況

1 第3期経営計画の策定

令和5年度は第2期中・長期経営計画（令和3年度～令和5年度、以下「第2期計画」と略す）の最終年度であり、目標達成を目指して多様な事業活動を推進いたしました。併せて、第2期計画の成果見込みと評価を踏まえ、かつ、公社を取り巻く環境の変化を鑑みて、以下のとおり「新たな10年後の将来像」を設定した上で、第3期経営計画（令和6年度～令和10年度、以下「第3期計画」と略す）を策定いたしました。



## 2 経営に関する外的要因への対応

令和元年度から発生した新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に感染症法上の第5類になりました。公社経営に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症がほぼ収束し、施設利用に関する制限も解除されたにも関わらず、スポーツ施設の利用者数はコロナ禍前の水準に回復しませんでした。コロナ禍の数年間においても進行した、秋田県の人口減少、少子化や高齢化、並びに若年層の県外流出による影響が表面化してきたものと分析しております。秋田県の人口減少等は確実に進行していきますので、今後は、この条件のもとで、いかに事業展開を進め、収益を確保していくか、が最も重要な課題となると認識しております。

### 【令和元年度を100とした利用者実績及び減少率】

	R 1	R 3	R 4	R 5
年間利用者数（人）※	672,104	324,706	410,238	540,857
減少率（対令和元年度）		▲51.7%	▲39.0%	▲19.5%

※公社が管理するスポーツ施設の年間利用者合計人数（環境・文化・公園施設を除く）

経営においては、令和5年度はエネルギー価格の高止まりを想定し、約8千万円の赤字予算を計上しておりました。エネルギー価格が値下がりすることはありませんでした。無駄のない効率的な使用を徹底することでエネルギー使用量を抑制するとともに、暖冬による除雪委託費等の減少や光熱費を対象とした県の補助金等により、最終的には3,251万円の黒字となりました。

## 3 指定管理施設の実績と指定管理更新に関する対応

あきた芸術劇場ミルハスは令和5年度に初めて通年で営業し、利用者数39万9千人、大ホール・中ホール稼働率は各85%、利用料金収入1億4千6百万円余りを確保することができました。県内の芸術文化の振興と中心市街地の賑わいづくりの拠点施設として、同時に、秋田市における芸術文化ゾーンのランドマーク施設として定着してきております。

令和5年度は、県立武道館の指定管理更新の申請時期であったため、令和6年度からの新たな指定管理条件に対して、公社単独で申請し、次期指定管理の候補者に選定されました。しかし、県では、令和8年度に向浜スポーツゾーンと一体となった指定管理に移行させ、効率的に管理することを検討していることから、令和7年度には向



浜エリア全体の指定管理申請に臨むことになるかと予想しております。

新県立体育館については、県の基本計画検討委員会を通じて、八橋公園内でのPFI方式による建設・維持管理・運営が決定いたしました。新たな方式に対応するため、令和5年度は、これまでに公社が経験したことがない、企業連合体としての受注に向けた検討を実施してまいりました。令和6年3月に新県立体育館整備に係る実施方針と要求水準書案が公表となりましたので、令和6年末には落札者が決まることから、その受注に向けた活動を更に活発化させてまいります。

#### 4 人材育成と働きやすい環境の整備

人材育成を目的とした研修計画において、所長・部長等の管理職を対象とした、2年間継続のマネジメント研修を公社で初めて実施いたしました。研修では、管理職に求められる能力、部下指導のスキル、チームビルディングや目標設定面談などを学び、公社の課題をケーススタディとして取り上げて各自が職場改善シートを作成して、具体的に課題検討を進めました。また、令和4年度から継続しているコンプライアンス研修は、限定社員まで受講対象を拡大して令和5年度に3回開催し、令和6年度中に対象者全員の受講完了を目指しております。

公社では、引き続き秋田県版健康経営優良法人の認定を受け、健康経営宣言に基づいた経営を実施しており、具体的には、人間ドック受診に係る費用助成の増額や健康診断項目の拡充などにより、社員が働きやすい環境の整備に努めました。

## II 重点戦略に対する取組み

### 1 施設管理・利用促進に向けた管理業務のレベルアップ

#### (1) 施設の安全管理とサービス向上

- ① 令和3年度のプロジェクトチームで運用を開始したドローンは、施設管理部が機器と操縦者を一体的に管理し積極的に活用いたしました。広大な環境保全センター施設の俯瞰写真を撮影し県への月例報告添付資料とした他、現体育館の周辺を高所から撮影し新体育館建設の参考資料にするなどの活用をいたしました。

また、操縦者資格として国家資格制度が整備されましたので、新たに社員1名に当該資



ドローンで撮影した県立体育館周辺

格を取得させることにより、操縦資格保有者を3名に増員いたしました。

- ② お客様のご意見やご要望を管理運営に反映させるためにアンケートを各事務所で収集し、ご指摘については対応を検討した上で、各施設に掲示しております。収集枚数は、令和4年度の928枚に対して、令和5年度は1,066枚と増加いたしました。「プール更衣室に時計が欲しい」という要望に対応して時計を設置したところ、感謝のアンケートを再度いただいた事例もありました。今後も公社全体として積極的に、お客様の声を施設管理・運営に反映させてまいります。

なお、環境保全センターでも令和3年度から利用者アンケートを実施しております。設置者である県から求められたものではありませんが、利用者の意見を施設管理運営に活用しております。令和5年度も同様に実施し、その結果をホームページに公表するとともに、国道からの進入路（大仙市道）の補修整備について、利用者の声として大仙市へ要望いたしました。

## （2）利用者の安全・安心の確保

- ① 令和5年度は全県的に熊の出没・被害が多く、由利本荘市の射撃場周辺や秋田市向浜エリアにある管理施設周辺でも熊が目撃されたことから、公社全体でクマ目撃時の通報ルールを統一した上で全社員に周知し、安全確認を徹底いたしました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和4年度は消防署員が出張しての救命講習を実施できない事態となりましたが、感染症の扱いが5類に変更になったことから、令和5年度は秋田消防署に派遣を依頼し、5月に普通救命講習Ⅰを、7月に上級救命講習を公社内で実施することができました。それぞれ26名、6名の社員が受講しております。

- ③ 環境保全センターでは大雨等による急激な水位上昇に対応するために令和4年度に各調整槽にバイパス配管を増設いたしました。7月の大雨災害時においても、的確な切替操作により、溢水等を生じさせることなく処理することができております。

また、不適合な廃棄物の搬入を抑制するために、県と共同で展開検査を実施し、不適合事案の事業



環境保全センター 展開検査

者に対して、指摘票を交付し啓発チラシを配布して改善指導に努めました。

### (3) 公社や各施設のPRと施設の利用促進

① 施設のPRと利用促進を目的として、令和4年度より開始したインスタグラムを更に積極的に活用いたしました。各施設でのイベントや行事告知だけではなく、日常業務活動の様子や施設周辺の風景も含めて情報発信した結果、令和5年度の投稿数は109件となり、アクセス数も27,571回と増加しております。

② 昨年度の「スケート場デザインプロジェクト」により創出されたキャラクター「かまくまくん」を活用して、スケート場に掲示する壁画を作成いたしました。公立美術大学附属高等学院の生徒から、縦1.2m×横幅20mの長大壁画の原画案（「かまくまくんストーリー テーマ：わきあいあい」）を作成していただきました。更に、夏休みを活用して多くの生徒や先生の彩色作業により完成させ、10月のスケート場オープン時にお披露目することができました。



スケート場の壁画と公立美術大学附属高等学院の生徒の皆さん

また、公社各施設から8名を選抜し『「かまくまくん」創作プロジェクトチーム』を発足させ、「かまくまくん」をモチーフとした商品化を検討し、商標登録の準備を進めております。

### (4) 指定管理等の継続的な確保

前述のとおり、令和5年度は県立武道館の指定管理更新の申請時期でありましたので、継続的な受託を目指して申請し、次期指定管理の候補者に選定されました。

一方で、県有施設の指定管理制度の見直しが行われ、県立中央公園と向浜スポーツゾーンにおいては、更新に向けた手続きとしてのサウンディング（官民対話）が実施されました。現指定管理者として、県に対し、維持管理・運営に関する要望と利用促進につながる提案を伝える機会として活用いたしました。

## 2 自立的経営の推進

### (1) 自主事業の展開

自立的経営の主要事業となる自主事業については、72事業を計画して、62事業を実施し、1,076万円の収入を確保いたしました。令和5年度はコロナ禍による影響はほとんどありませんでしたが、10事業は参加者がごく少数で中止となりました。競技者人口

の少ない武道や射撃に関する教室については、競技自体の普及啓発に向けた検討が必要と考えております。

### (2) 「稼ぐ施設」への対応

設置者である県では、大規模施設の指定管理においては、安全安心な管理に加えて、「稼ぐ」ことを求めるようになってきております。既に利用料金併用制である中央公園に加え、県立武道館を含む向浜スポーツゾーンでも利用料金併用制への移行が計画されております。令和5年度は、今後の条件変更に対応し収益確保の手段を探るために、青森県の施設視察や他分野の事業者へのヒアリングを実施いたしました。

### (3) 資格取得による指定管理業務の内製化

公社では社員が各種資格を取得することにより、指定管理業務において必要となる各種資格業務の内製化を進めてまいりました。令和5年度も新たに、第二種電気工事士資格や芝草管理技術者資格を取得させて業務の内製化を進めるとともに、二等無人航空機操縦士資格を取得させて社内でのドローン操縦者を増やして施設管理業務に活用しております。

## 3 人材の計画的な育成と確保

令和4年度からの研修計画に即して、全社員を対象とした研修と階層別の研修を並行して開催し、計画的な人材育成を進めております。コンプライアンス研修は限定社員以上の全社員受講を目標として令和5年度に3回開催し、44名が受講いたしました。来年度の2回で全社員の受講が完了となります。

階層別研修では、前述のとおり管理者層に対する研修としてマネジメント研修を初めて実施いたしました。2年間にわたる研修としておりますので、同じ対象社員に対して令和6年度も引き続き実施いたします。また、令和6年度からは主任以上課長補佐以下の中堅層を対象とし、自律的に考え行動できる人材の育成を目的とした、「自律的思考獲得研修」を実施する計画としております。令和5年度には、その概要を定めて企画コンペを実施した上で、研修委託候補社を決定いたしました。



コンプライアンス研修

昨今の人手不足は公社も例外ではなく、人材の確保及び定着を図るため、契約社員の給与水準の引き上げを実施いたしました。同時に、契約社員の無期転換化や限定社員から総合職社員への登用制度を活用して、社内人材の育成に努めております。

#### 4 業務効率化

業務の効率化に向けて、主にデジタル化を推進いたしました。県立武道館では、公社として初めてネット上での予約システムの導入を進め、令和6年4月より稼働を開始いたします。循環器・脳脊髄センターでは工事記録のデータベース化を進め、各種工事に活用しております。

総務部では新たに、入金報告事務や車賃に係る旅費の申請・精算事務について、電子決裁の対象としております。

あきた芸術劇場ミルハスでは、冷暖房に電気とガスの併用が可能で、実際に電気とガスを併用した場合と、いずれか一方を使用した場合のコストを比較、検証し、冷房は電気のみ、暖房はガスのみとするなど、季節に応じて最適な熱源調達に取り組みました。これにより、6月から3月までの前年度比で電気使用量は93%、ガス使用量は67%となり、大幅な縮減を実現することができました。

環境保全センターでは、平成30年度の省エネ診断に基づいて、各種施設・設備の更新を続けてまいりました。令和5年度には節電効果の大きいばっ気ブローインバーター設置工事に着手し、令和6年度に完了する予定となっております。また、県の指示の下で受付システムを改修し、10月からのインボイス制度の導入に対応しております。



環境保全センター ばっ気ブロー

#### 5 多様な働き方により能力を発揮できる職場環境の整備

引き続き「秋田県版健康経営優良法人」の認定（認定期間：令和5年9月～令和6年8月）を受け、ワークライフバランスの推進と健康宣言に基づいた経営を進めております。

また、社員提案制度を受けて、繁忙期を抱える施設における夏休み取得期間を柔軟に設定できる制度の導入など、社員が働きやすい職場環境の整備に努めました。

更に、年度末手当を支給できる制度を創設し、業績に応じて年度末手当を支給することにより、社員のモチベーションの向上を図っております。

#### 6 社会貢献事業の実施

環境保全事務所が中心となって「あきたエコフェス」に参加し、産業廃棄物処理に関するパネル展示や子供向けクイズなどにより、環境意識の啓発に努めました。

中央公園事務所等7機関で組織している「雄和椿川地区熊対策協議会」では、近隣施設と協力し下草刈りや雑木伐採を行って熊被害の未然防止に努めました。また、令和5年8月には、県自然保護課から講師を派遣していただき、国際教養大の学生向けに、英語による熊対策啓発講座を開催いたしました。

武道館では、地域文化の普及啓発活動として、初心者向けに和太鼓教室を開催し好評を博しており、令和5年度は基本講座に加えて、経験者向けに応用講座を開講いたしました。

あきた芸術劇場ミルハスでは、秋田民謡の普及啓発を目的として、県内若手民謡歌手による民謡公演を開催いたしました。また、商工会議所主催の広小路バザールに併せて子供向けイベントを開催して、中心市街地の賑わい創出につなげております。



あきた芸術劇場 #あきた民謡フェス

### Ⅲ 定時評議員会及び理事会の開催

第1回理事会	令和5年5月25日
定時評議員会	令和5年6月15日
第2回理事会	令和6年3月26日

#### IV 指定管理施設の利用実績

各施設の利用目標に対する実績は次のとおりです。

施設区分		R5 目標 (イ)	R5 実績 (ロ)	目標達成率 (ロ) / (イ)
環境保全	秋田県環境保全センター	37,000	59,585	161.0%
文化	あきた芸術劇場ミルハス	350,000	399,065	114.0%
体育	秋田県立体育館	47,600	50,954	107.0%
	秋田県立武道館	194,400	188,617	97.0%
	秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）	2,000	1,554	77.7%
	秋田県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	800	718	87.8%
	秋田県立総合プール	122,500	120,682	98.5%
	秋田県立野球場	86,000	98,912	115.0%
	秋田県立向浜運動広場	21,900	19,375	88.5%
	秋田県立スケート場	59,800	60,045	100.4%
公園	秋田県立中央公園	504,000	641,764	127.3%
合計（体育・公園施設）		1,039,000	1,182,621	113.8%
合計（文化・体育・公園施設）		1,389,000	1,581,686	113.9%

※注：単位について、秋田県環境保全センターは産業廃棄物の処分量（トン）、その他施設は利用者数（人）

#### V 事業の実施実績

##### 1 施設管理運営事業

秋田県等から公の施設の管理運営指定や業務委託を受け、効率的かつ効果的な施設運営と利用者サービスの向上に努めました。

##### (1) 指定管理者制度による施設の管理運営事業

区分	施設名称
環境保全施設	秋田県環境保全センター
体育施設	秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県立総合射撃場、秋田県立総合プール、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、秋田県立スケート場
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス
公園施設	秋田県立中央公園

##### (2) 施設設備管理業務等に関する業務受託事業

区分	施設名称
医療施設	秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田県総合保健センター
環境保全施設	能代産業廃棄物処理センター

## 2 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

### （1）文化普及事業

秋田県立武道館や秋田県立中央公園において、芸術文化に親しむことにより人々の日常生活が豊かになるよう、鑑賞の機会や活動団体の交流の場を提供したほか、生涯学習に資する各種教室の開催等を行いました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立武道館	【文化育成事業】	
	・夏休みクレイクラフト教室	8月5日 10人
	・バルーンアート教室	11月11日 中止
	【伝統文化継承事業】	
	・和太鼓教室（基本講座）	5回 6月～7月 32人
	・和太鼓教室（応用講座）	5回 10月～11月 32人
	・書道教室	6回 10月～11月 中止
秋田県立中央公園	【文化育成事業】	
	・中央公園の四季フォトコンテスト	通年 22人

### （2）スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

スポーツ活動に対する県民ニーズに的確に対応し、施設の利用促進と気軽に楽しめる生涯スポーツやニュースポーツなどの普及・振興を図るため、次の事業を実施しました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立体育館 （企画事業部）	【スポーツ交流事業】	
	・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2023	7月22日 31人
秋田県立総合プール	【イベント事業】	
	・県立総合プール施設探検ツアー	1月28日 17人
秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】	
	・第10回こまち杯争奪野球大会	10月9日 100人
秋田県立スケート場	【イベント等】	
	・クリスマスフェスティバル	12月24日 910人
	・バレンタインイベント	2月11日 647人
秋田県立中央公園	【イベント・レクリエーション事業】	
	・県立中央公園冬まつり	1月28日 2,200人



県立武道館 和太鼓教室



県立野球場  
第10回こまち杯争奪野球大会

### 3 スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

秋田県立武道館において、各種武道教室や大会の開催、指導者の育成事業を開催するとともに、各武道団体の日ごろの修練の成果を発表する機会を設けるなど、武道の普及振興を図る、スポーツ振興事業として実施しました。

実施施設	内容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立武道館	<b>【スポーツ教室事業】</b>	
	・通年剣道教室 40回	4月～3月 979人
	・初心者柔道教室 6回	5月～3月 46人
	・初心者合気道教室 5回	10月～11月 62人
	・初心者銃剣道教室 5回	7月～8月 中止
	・太極拳教室(前・後期) 各6回	6月 61人
		9月～10月 48人
	・太極拳体幹運動教室(前・後期) 各5回	7月～8月 5人
		11月～12月 中止
	・親子スポーツチャンバラ教室(前・後期) 各5回	7月～8月 46人
		12月～1月 46人
	・少林寺拳法で護身術体験教室 5回	9月～10月 9人
	<b>【イベント事業】</b>	
・県立武道館施設探検ツアー	9月18日 10人	
・第16回武道まつり	1月8日 482人	

### 4 芸術文化発信事業

あきた芸術劇場ミルハスの主催事業として、県民が芸術文化に触れる機会を拡大し、国内外に秋田の文化や芸術を発信する事業を実施しました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
あきた芸術劇場 ミルハス	<p><b>【芸術性の高い公演や文化芸術を国内外に 発信する事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ #あきた民謡フェス</li> <li>・ 宝塚公演</li> <li>・ 劇団四季公演「心の劇場」</li> <li>・ 劇団四季公演「クレージー・フォー・ユー」</li> <li>・ あきた吹奏楽の日</li> <li>・ 関西二期会オペラ「カルメン」</li> <li>・ 山形交響楽団公演</li> <li>・ 新解釈・三湖伝説 秋田公演</li> <li>・ 新解釈・三湖伝説 男鹿公演</li> <li>・ ラヴ・レターズ 秋田スペシャル公演</li> <li>・ 落語公演</li> </ul> <p><b>【県民市民が元気になる文化活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアノマラソン</li> <li>・ ミュージカルワークショップ 能代</li> <li>・ ミュージカルワークショップ 仙北</li> <li>・ 吹奏楽クリニック</li> <li>・ 文化講演会 ミルハス JAZZ 友活</li> <li>・ 文化講演会 ミルハス珈琲友活</li> <li>・ ミルハス見学会</li> <li>・ ミルハス大ホール見学会</li> <li>・ ミルハス大ホール見学会</li> <li>・ ミルハス中ホール見学会</li> <li>・ 施設マネジメント研修</li> </ul> <p><b>【公演・伝統芸能の映像資料等のアーカイブ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公演などの資料保存</li> <li>・ アーカイブ展示</li> </ul> <p><b>【周辺施設と連携したにぎわい創出のための 事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミルハス夏のマジックショー 「ロータ スフェスティバル」との連携事業</li> <li>・ ミルハスこどもプレイルーム 「広小路 バザール」との連携事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月20日 619人</li> <li>9月9日 4,000人</li> <li>10月5日 1,734人</li> <li>11月13日 1,700人</li> <li>1月6日 1,400人</li> <li>1月21日 800人</li> <li>3月3日 1,200人</li> <li>12月22日 500人</li> <li>12月17日 510人</li> <li>1月28日 800人</li> <li>9月20日 300人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>2月18日 43人</li> <li>3月16日 23人</li> <li>3月24日 13人</li> <li>2月18日 22人</li> <li>8月26日 32人</li> <li>1月28日 40人</li> <li>1月4日 168人</li> <li>6月18日 360人</li> <li>8月13日 80人</li> <li>5月4日 180人</li> <li>9月14日 16人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>通年</li> <li>通年</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月14日 60人</li> <li>10月8日 654人</li> </ul>

	・写真展「ミルハスインスタフォトコンテスト」	
	ミルハスの春 2023	6月23日～7月6日
	ミルハスの夏 2023	9月28日～10月15日
	ミルハスの秋 2023	12月22日～1月14日
	・ミルハスフォトコンテスト出張展示	
	ミルハスの冬 2024 及びミルハスの秋 2023	3月19日～3月31日
	会場：秋田市にぎわい交流館 AU	
	・OTONARI さんプロジェクト	2月25日 584人
	秋田市文化創造館との連携事業	
	・開館1周年記念事業「蓮の花展示」	9月17日～10月31日
<b>【共催事業】</b>		
・ウイーン少年合唱団	5月24日 1,000人	
・文化座公演「旅立つ家族」	8月2日 600人	
・私立恵比寿中学秋田分校	11月11日 1,900人	
・NDR エルプフィル×反田恭平公演	11月30日 1,500人	



あきた芸術劇場ミルハス  
関西二期会オペラ「カルメン」



あきた芸術劇場ミルハス  
開館1周年記念事業「蓮の花展示」

## 5 収益事業

施設の特性を活かし、収益性を考慮した付加価値の高いスポーツ教室やイベント等を開催し、スポーツ人口の増加や健康づくりの機会を提供しました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
------	-----	--------------------------

秋田県立体育館	<b>【スポーツ教室事業】</b>			
	・シニア健康増進事業 (トレーニング・エアロ・ヨガ)	96回	4月～3月	2,338人
	・アクティブフィット	37回	4月～3月	233人
	・アクティブクラブ キッズ	32回	4月～3月	206人
	・アクティブクラブ ジュニア	32回	4月～3月	243人
	・ノルディックウォーキング	6回	4月～11月	49人
	<b>【イベント事業】</b>			
	・坐禅と写経の夕べ		7月28日	17人
	<b>【文化育成事業】</b>			
	・陶芸教室		7月29日	21人
・フェイクスイーツ教室		7月30日	27人	
・シュガークラフト教室		1月14日	12人	
秋田県立武道館	<b>【スポーツ教室事業】</b>			
	・健康応援教室	24回	4月～3月	1,455人
	<b>【イベント事業】</b>			
	・ベビーマッサージ教室&サイン教室	12回	5月～10月	218人
	・フラダンス教室	10回	6月～10月	86人
秋田県立総合射撃場	<b>【スポーツ教室事業】</b>			
	・岩城小学校ビーム射撃クラブ	7回	6月～12月	70人
	<b>【イベント事業】</b>			
	・ビームライフルランクリスト		4月～10月	中止
	・ビームライフルランクリストファイナル		7月・11月	中止
秋田県立総合プール (※振替日含む)	・家族対抗ビームライフル射撃大会	2回	8月・1月	中止
	・ビームライフル・ピストル出前教室	1回	随時	中止
	<b>【スポーツ教室事業】</b>			
	・ベブイスイミング	8回	7月～9月	267人
	・キッズスイミング(水・木曜日)	各32回	4月～3月	1,577人
	・ジュニアスイミング(水・木曜日)	各33回	4月～3月	3,256人
	・おとなのためのスイミング	33回	4月～3月	832人
	・ワンポイントレッスン	毎月1～2回	4月～3月	150人
	・キッズサマースイミング	12回	7月～8月	104人
	・ジュニアサマースイミング	12回	7月～8月	191人
・レッドシャークス	11回	11月～3月	108人	

秋田県立スケート場 (※振替日含む)	・長崎宏子の「SWIM TO SMILE！」	8月5・6日	150人
	・親子 de レスキュー	7月 1日	18人
	<b>【イベント等】</b>		
	・秋田県立総合プール施設探検ツアー	1月28日	17人
	<b>【スポーツ教室事業】</b>		
	・スケート初心者教室 6回	12月～1月	120人
	・キッズスケート教室 12回	11月～2月	249人
	・ジュニアスケート教室 12回	11月～2月	243人
	・ステップアップスケート教室 12回	11月～2月	197人
	・放課後スケートクラブ 12回	11月～2月	255人
秋田県立野球場	・冬休みスケート教室 6回	12月～1月	215人
	・個人レッスン 8回	11月～2月	8人
秋田県立向浜運動広場	<b>【スポーツ交流事業】</b>		
	・県民開放事業 6回	8月～10月	410人
秋田県立中央公園	<b>【スポーツ教室事業】</b>		
	・向浜テニス教室 16回	5月～10月	363人
	<b>【レクリエーション事業】</b>		
	・夏休み思い出作り隊 2023	7月29日	127人
	<b>【スポーツ交流事業】</b>		
	・スコアボード更新工事完成記念「中央公園野球大会」	4月29日	4チーム
	・男女ミニバスケットボール交流会	6月・1月	20チーム
・SKY-Dリーグ交流会(小学生サッカー)	3月20日	10チーム	



県立体育館  
「アクティブフィット」



向浜運動広場  
「向浜テニス教室」



県立中央公園  
「男女ミニバスケット交流会」

## 6 施設連携事業

各事務所が連携した多種多様なイベントや研修を開催することにより、公社のPRと施設利用者の増加、施設の効果的な運営を図りました。

実施施設	内 容
秋田県立総合プール、秋田県立向浜運動広場 秋田県立野球場、秋田県立武道館、 秋田県立総合射撃場	・向浜こどもスタンプラリー（5月5日） 946人
あきた芸術劇場ミルハス	・事務所間交流研修（11月21日） 7人

## 7 企業等連携事業

企業、各種団体や地域団体へ魅力ある企画を提供し、社会貢献と企業等のイメージアップを図るため企業等連携事業を実施しました。

公社、秋田魁新報社及びスペースプロジェクトは共同事業体AASとして連携してあきた芸術劇場ミルハスを運営しておりますが、このほか、事業主体としてあきた結婚支援センター等と連携して事業を実施しました。

実施施設	内 容
あきた芸術劇場ミルハス	【ミルハス夏のマジックショー】（7月14日） 秋田商工会議所 60人（再掲） 【こどもプレイルーム】（10月8日） 秋田商工会議所 654人（再掲） 【ミルハスJAZZ友活】（8月26日） あきた結婚支援センター32人（再掲） 【ミルハス珈琲友活】（1月28日） あきた結婚支援センター40人（再掲） 【OTONARIさんプロジェクト】（2月25日） 秋田市文化創造館 584人（再掲） 【魁星旗争奪全国高校剣道大会パネル展】 （3月1日～24日） （株）秋田魁新報社
秋田県立体育館、企画事業部	【夏休み！キッズチャレンジスポーツ2023】 秋田ノザンビネット、秋田ノザンブレツ（7月22日） 31人（再掲）

<p>向浜スポーツゾーン、秋田県立武道館 秋田県立総合射撃場（出前講習）</p>	<p>【向浜こどもスタンプラリー】（5月5日） 秋田県レクリエーション協会 秋田県ライフル射撃協会、秋田県弓道連盟 946人（再掲）</p>
<p>秋田県立武道館</p>	<p>【第16回秋田県武道まつり】（1月8日） 県内各武道（術）団体 482人（再掲） 【魁星旗争奪全国高校剣道大会パネル展】（3月26日～31日）（株）秋田魁新報社</p>
<p>秋田県立総合プール</p>	<p>【県立図書館連携事業】（6月～2月） 秋田県立図書館 【長崎宏子のSWIM TO SMILE!】（8月5・6日） 秋田県、（有）ゲンキなアトリエ 150人（再掲）</p>
<p>秋田県立中央公園</p>	<p>【男女ミニバスケットボール交流会】（6月・1月） 県内ミニバスケットボールスポーツ少年団 20チーム（再掲） 【星を見る会】 （5月27日）天文同好会「秋田星っ子の会」19人 （9月23日）天文同好会「秋田星っ子の会」15人 【S K Y - Dリーグ交流会】（3月20日） 秋田県サッカー協会 10チーム（再掲） 【県立中央公園冬まつり】（1月28日） 秋田県レクリエーション協会、秋田東警察署、 自衛隊秋田地方協力本部、秋田南消防署雄和 分署 2,200人（再掲）</p>



県立武道館  
「第16回秋田県武道まつり」



県立中央公園  
「S K Y - D リーグ交流会」

## 8 施設開放事業

どなたにも気軽に楽しく施設を利用していただくため、こどもの日やスポーツの日などの祝日やイベント開催時に、次のとおり施設の開放を行いました。

また、あきた芸術劇場ミルハスでは県の記念日に大・中ホールの見学ツアーを行いました。

事業名	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
無料開放事業	<b>【祝日や記念日等の無料開放】</b> （秋田県立体育館・秋田県立武道館・秋田県立総合射撃場・秋田県立総合プール・秋田県立向浜運動広場・秋田県立中央公園） ・こどもの日 ・都市公園制度 150 周年記念無料開放 ※県立中央公園のみ ・県の記念日 ・スポーツの日 <b>【スケート場の開場日・閉場日等に合わせた無料開放】</b> ・オープンサービスデー ・クリスマスフェスティバル（再掲） ・ファイナルサービスデー	5月 5日 3,101人 8月 26日 47人 8月 29日 254人 10月 9日 1,133人 10月 21日 51人 12月 24日 910人 3月 20日 162人
一般開放事業	<b>【個人向け施設開放（有料）】</b> （秋田県立体育館） ・スポーツを楽しむ日 126日（279回）	4月～ 3月 3,326人
団体開放事業	<b>【団体向け施設開放（有料）】</b> （秋田県立野球場） ・県民開放日 6回（再掲）	8月～10月 410人
施設見学	<b>【施設見学会】</b> （あきた芸術劇場ミルハス） ・県の記念日施設見学ツアー	8月 29日 29人

## 9 広報事業

広報誌の発行やウェブサイトの活用などを通じて、芸術文化やスポーツ、レクリエーション等に関する情報提供を行いました。

事業名	内 容
広報誌発行	指定管理施設の状況や主催事業等を幅広く紹介するとともに、各施設の利用促進とスポーツの普及振興を図るため、「みんなのスポーツ・カルチャー」（春・夏号と秋・冬号計 10,700 部）を発行し、小中学校をはじめ県内各地域に配布しました。

<p>ウェブサイトの活用</p>	<p>会社の公式ウェブサイトを通じ施設の予約状況（貸館空き情報）のほか、主催事業のお知らせや各施設へのアクセス等について、情報発信を行いました。</p> <p>※ウェブサイトへのアクセス実績 令和5年度 343,127件</p> <p>また、サイト上のブログを活用し、主催事業開催の様子など写真を多用しながらわかりやすく紹介しました。</p> <p>※ブログへのアクセス実績 令和5年度 109,563件</p> <p>さらに、令和4年5月から会社の公式インスタグラムの運用を開始し、主催事業の様子や各施設周辺の景観の紹介などを行いました。</p> <p>※インスタグラムへのアクセス実績 令和5年度 27,571件</p>
<p>テレビ番組への情報提供</p>	<p>県立スケート場のオープン日直前に、秋田ケーブルテレビ（CNA）の情報番組「し～なチャン」に社員が出演し、オープンサービスデーの情報や公立美術大学附属高等学院の生徒制作の壁画を紹介しました。</p>
<p>「週刊さきがけスポーツコラム」への寄稿</p>	<p>令和3年度から継続して、「週刊さきがけスポーツ」の「県内スポーツだより」に4月～3月の月1～2回、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話や裏話、自主事業の話題などを寄稿しました。</p>
<p>県内メディアへの直接的な情報提供</p>	<p>自主事業の開催について、県内のメディアを社員が訪問し、担当者へ直接情報提供を行いました。</p>



広報誌「みんなのスポーツ・カルチャー」



CNA「し～なチャン」への出演

## 10 社会貢献事業

実施施設	内容
<p>環境保全事務所</p>	<p>【第21回あきたエコフェス】(再掲) 9月2日・3日</p> <p>【アクセス道路の市道・古種沢川のクリーンアップ】</p> <p>アクセス道路である市道のクリーンアップを月1回、処理水を放流する古種沢川の清掃を年1回実施し、周辺環境の保全に努めました。</p>

向浜スポーツゾーン	<p>【向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ】4月17日、8月21日 環境意識の啓発活動の一環として、向浜スポーツゾーンエリアの県施設や秋田県立総合プール等の委託業務を行っている秋田ノーミ（株）の社員の方々と連携して年2回実施しました。</p>
秋田県立中央公園	<p>【雄和椿川地区熊対策協議会の活動】 中央公園事務所、株式会社雄和振興公社、公立大学法人国際教養大学など雄和椿川地区にある7機関で組織している「雄和椿川地区熊対策協議会」で、熊対策として緩衝帯維持のために施設周辺の雑草や雑木の刈り払いを実施しました。 また、中央公園事務所主催の中央公園冬まつりにおいて、同協議会の活動をパネルで紹介し、熊の剥製を展示するなどにより、啓発活動を展開しました。 更に、国際教養大学の9月入学生を対象として、熊との共生による安全安心な環境づくりを目指した熊対策啓発講座を開催しました。</p>

## 11 その他関連事業

商品販売及びサービス提供等に関する事業として、施設利用者の利便性向上を図るため、次の事業を実施しました。

事業名	内容
ユーザーサービス事業	秋田県立循環器・脳脊髄センターにおける洗濯機等の設置
喫茶ホール	秋田県立スケート場における喫茶ホールの営業
自動販売機サービス事業	環境保全施設、文化施設、体育施設、公園施設における自動販売機等の設置
にぎわい創出事業	綿あめ機・ポップコーンマシーンを活用し、自主事業時に販売



県立スケート場喫茶ホール



向浜子どもスタンプラリーでの  
綿あめ販売

## 12 秋田県出資法人等の連携に関する事業

秋田県出資法人等の社員・職員採用における公正・透明性確保を目的として、公募による共同採用試験を下記のとおり実施しました。

なお、今年度で県出資法人と連携して実施してきた本事業は終了となりました。

事業名	内容
公募制共同採用試験	<p>○第1回共同採用試験</p> <p>実施内容 第1次試験(7月9日) 第2次試験(8月16日~18日)</p> <p>参加法人 3法人(関係出資法人等の総数19法人)</p> <p>採用予定 14名 第1次試験受験者 32名—倍率2.3倍— 最終合格者数 11名 最終倍率 2.9倍</p> <p>○第2回共同採用試験</p> <p>実施内容 第1次試験(10月15日) 第2次試験(11月8日~10日)</p> <p>参加法人 3法人(関係出資法人等の総数19法人)</p> <p>採用予定 16名 第1次試験受験者 53名—倍率3.3倍— 最終合格者数 16名 最終倍率 3.3倍</p>